

# にいがた狼煙プロジェクト2010 柏崎地域の狼煙あげ会場の紹介

## 1 旗持山(10:13)

戦国時代、米山峠をおさえる要衝に位置し、軍事上重要な拠点であり、堅固な山城であった。「御館の乱」では、上杉景勝を支援する佐野清左衛門が籠城し、上杉景虎軍と戦って戦功をあげている。



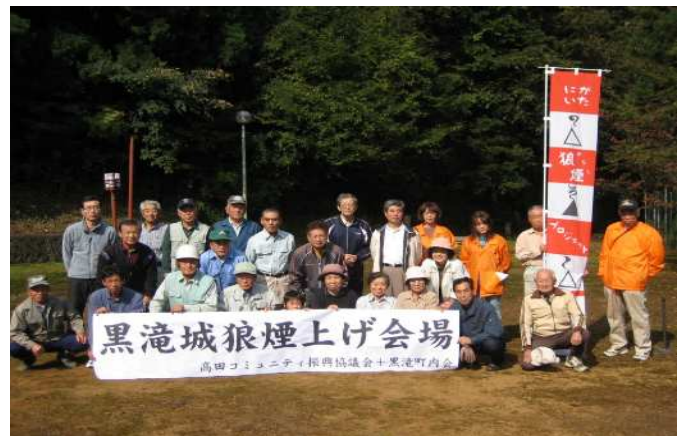
## 2 枇杷島城址(10:14)

中世越後有数の港湾「柏崎湊」と「柏崎町」の支配と防衛のために、越後守護上杉家の直領として、大切な役割を担いました。また、NHK大河ドラマ「天と地と」や「天地人」などで謙信の軍師として描かれた宇佐美定満の居城として有名。城跡には現在、県立柏崎総合高校が建っており、敷地内に城址の石碑が建立されている。



## 3 黒滝城址(10:15)

宇河(鵜川)荘の荘園時代に、領主荘官になった者が築城したものと思われる。なお、上杉清方も領主となっており、上条城の支城であった。



## 4 上条城址(10:16)

南北朝期に足利尊氏と従兄弟関係にあった山内上杉憲顕(越後上杉氏の祖)が守護として直江津に国府を置いたが、力のある越後毛利氏などの土豪を牽制するために国府に次ぐ政庁として置かれたもの。初代城主は、結城合戦で室町幕府側の総大将を務めた上条上杉清方である。





## 5 古町番城址 (10:17)

古町地内にある上条城の支城である。



## 6 細越城址 (10:18)

城主は、上杉家の家臣で、上杉家の会津・米沢移封に伴って移転したと云われている。



## 7 坪野城址 (10:19)

坪野集落を流れる黒姫川が鯖石川に注ぐ左岸に構築された城。



## 8 安田城址 (10:20)

安田毛利家は、中世越後の有力な土豪衆として224年間、この地を統治した。特に、御館の乱では、景勝軍に属し、八代能元は大きな戦功を立てた。能元は、会津・米沢と移封された上杉家に同行し、直江兼続に次ぐ藩の家老として景勝を支えたと云われている。



## 9 鳥谷城址 (10:21)

長鳥地内にある山城。居城した人物は不明。



## 10 矢田城址 (10:22)

北条城家老として毛利氏に仕えた石口采女広宗の城跡。石口氏は「御館の乱」後、上杉景勝につく。広宗は魚津城にて戦死し、その後、上杉景勝が会津に移った際、廃城となった。



## 11 吉井城址 (10:23)

吉井地内、現在の石油資源開発吉井鉱場裏手の山に位置する北条城の支城。



## 12 大日山 (10:24)

曾地集落から国道8号線に沿って見上げることができる見晴らしのよい場所にある山。信仰の山とされ頂上には大日如来像と金比羅宮が祀られ、往来の跡が偲ばれる。

### 13 二田城物見砦 (10:25)

二田城は、長岡市三島谷集落と境にあった山城。上越より中越・下越地方へ通じる街道を監視できた重要な城であった。一説によれば、物部神社の神官によって築城され、のち上杉家の家臣井玄蕃頭、須田大炊頭長義、梅津半左衛門が城主になったと云われている。物見砦は、この城の物見台である。



### 14 高内城址 (10:26)

西山町別山地区尾頃部の高内山山頂にある。同地区の多々神社の記録によれば、城主は上杉家の家臣大熊備前守朝秀と記されている。